



4年生の「恋ダンス」



卒業記念制作「校訓」額

6年生に感謝

2月24日（金）、児童会主催の「6年生を送る会」を行いました。この会は、この1年間亀城小学校の「顔」として活躍してくれた6年生に感謝の気持ちを伝え、みんなで卒業をお祝いしようという趣旨で計画されました。

今年も2～5年生の拍手の中、なかよしグループの1年生と仲良く手をつないで入場した6年生は、1年生から手作りのメダルをプレゼントされました。次は、2～5年生がこの日のために工夫を凝らし、一生懸命練習してきた出し物で、感謝の気持ちと6年生の思いを引き継ぐ気持ちを伝えました。

続いての「思い出のスライドショー」では、6年生が1年生だったころからの様々な思い出の一枚がスクリーンに映し出され、会場は笑いの渦に包まれました。最後に、在校生全員で感謝の気持ちを込め「ありがとう6年生」の歌を贈り、6年生もそれに応じてお礼の歌「桜の下で」を返しました。最後に、6年生が卒業制作として、たくさんの四角い木片を組み合わせて作った「校訓」額を贈りました。

この会では、4・5年生の実行委員が大活躍しました。次は自分が亀城小学校のリーダーだという気持ちが伝わってきて頼もしく感じました

よりすばらしい亀城小学校に



やさしいねボックス（右）と目安箱（左）

亀城小学校をよりすばらしい学校にしていこうと、児童会の発案で中央昇降口に「やさしいねボックス」と「目安箱」が登場しました。

「やさしいねボックス」は、友達のやさしい行いを見つけたらみんなに広め、亀城小をやさしい気持ちで一杯にしようという考えで設置されました。集められた「やさしい心」は、毎週金曜日に昼の放送で紹介されています。

「目安箱」は、学校をどのようにしたいかというアイデアを集める箱です。寄せられたアイデアについて児童代表委員会で話し合い、実現に向けて活動していきます。

心を一つに！クラス対抗長縄大会



子どもたちの体力向上を目的として、1月から長縄に取り組みました。そして、総まとめとして、2月9日（木）に全校一斉の大会を計画しましたが、あいにく当日の天候が悪く、大会は各学年ごとに行うことになりました。

本番では、どの学級も、放課や体育の時間に取り組んだ練習の成果を発揮しようと、クラス一丸となりがんばりました。縄を回す子、跳ぶ子はもちろん、仲間を全力で応援する子たちの姿に感動しました。

各学級2チーム、それぞれ3分間の8の字跳びの合計回数で競った結果は以下の通りです。

好記録が続出した4年生

1 松	1 竹	1 梅	2 松	2 竹	2 梅
1 8 7	1 6 6	2 0 3	4 0 0	2 4 6	3 1 3
3 松	3 竹	3 梅	4 松	4 竹	4 梅
4 1 0	3 5 6	4 7 0	5 9 5	4 5 6	5 5 7
5 松	5 竹	5 梅	6 松	6 竹	
3 9 7	4 8 5	4 8 1	5 0 0	4 9 1	



笑顔あふれる教室

1年間ありがとう

3月2日（木）、この1年間掃除をしたり遊んだりして一緒に過ごしてきた「なかよしグループ」のお別れ会がありました。

この日は、いつもの6年生にかわり、5年生ががんばって会を進めていました。担当の先生ごとに教室に集まった子どもたちは、「何でもバスケット」などのゲームで、残りわずかな6年生とのひとときを楽しみました。下級生からの感謝の手紙の贈呈、6年生のあいさつと続き、楽しい中にも少し寂しさが入り交じる会になりました。



問題に取り組む亀城っ子

ふるさと検定

総合的な学習の時間のまとめとして、2月20日（月）、6年生が「亀城ふるさと検定」を行いました。ふるさと亀城について多くの人に興味をもってもらおうと、これまで学習してきたことをもとに1級から4級の問題を作成し、受付から採点、表彰まで子どもたちが分担して行いました。会場には入りきれないほどの亀城っ子が集まり、大盛況となりました。これに先立つ18日（土）には、一般向けにも行われ、お父さんやお母さん、小さな子どもたちの姿も見られました。

